

むらコンがなんだか素敵そう

いま、都会では「街コン」が大ブームだ。複数の飲食店を会場にした巨大な合コンで、少なくとも100人以上、多いと何千人もの男女が参加する。主催は企業がほとんどだが、飲食店や街の活性化にもつながると、ここ10年ほどで一気に全国に広まった。友達を増やすような感覚で気軽に参加できる雰囲気がある。若者にウケているようだ。

その一方で、地域の人が地元で企画する「むらの婚活」、むらコンも増えている。いままでは田舎の婚活というと、結婚相談員やお見合いなど、少し重たいイメージだったが、最近はやっと違うらしい。調べてみると、婚活ついでに農業体験ができたり、地元のおいしい料理が食べられたり、なんだか、とっても楽しそうなのだ。

むらコン行ってみたいなああと、冗談半分で行っていたら「なら行ってみる？ ちょうど彼氏もいないみたいだし」と編集長。そんなわけで、合コンにすら行ったことのない私(27歳)が、むらコンに挑戦(?)することになった。

農家主催のお料理婚活で出逢っちゃお

参加したのは、高知県佐川町の農家3軒でつくる加工グループ「黒岩じるし」が主催する「第2回料理婚活in佐川」今年こそ出逢っちゃおう。料理婚活なら会話に困ることもなさそうだし、何より地元の食材を使ったおいしい料



「むらの婚活」
潜入レポート！

農家主催の 料理婚活に参加してみた

高知県佐川町・黒岩じるし

文=編集部 写真=高木あつ子



理が食べられるのが魅力だ。

1月下旬、春のようにうらかな陽気の高知龍馬空港に降りた。ああ、なんだか妙に緊張してきた。本当に素敵な人に出会っちゃったらどうしよう、取材なのに……。

空港から車で約1時間半、会場の佐川町総合文化センターに到着した。

どんな男性が来るんだろう

参加者は男性18人、女性17人の計35人。20代〜40代の募集だったので年齢も結構幅広い。全員そろったらお決まりの「自己紹介タイム」だ。異性全員と自己紹介を兼ねて1分間ずつお話をする。

「僕は土佐町で地域おこし協力隊やってます」「町内でナシつくってます。えっ東京からですか？俺も神奈川に住んでたことあるんですよ」

結構元気な若者も多いな。あれ、このおじさまは顔に絆創膏が。

「いや、あの、今朝カミソリで……」

次のジャージの方は趣味がジョギング、ってことは今日も走ってここまで？婚活に参加する男性にもいろいろいる。それにしても、1分間は短い！

全員と話し終わると、名刺大の第一印象カードが配られた。気になる異性の名前を最大2人まで書くのだが、これはもう直感で決めるのかなさそう。プロフィールカードの仕事の欄に、「百姓」って書いてたあの人、あれ……名前、なんだっけな。

自己紹介タイム

プロフィールカードが大活躍！

仕事・趣味・住んでいる場所・特技・誕生日・初デートで行きたい場所の6項目を書いておくカード。受付で渡される。これを交換すれば、パッと相手を知ることができるので、会話の糸口がつかめるし、視覚の情報があると記憶にも残りやすい



右が女性の列で左が男性の列。着席したらまずプロフィールカードを交換して話しはじめる。1分経ったら、男性がひと席ずつずれていく

ヤバイ。1分ずつで次々交替じゃ誰と何話したかわかんなくなっちゃった……

みんな頑張れ〜

司会は黒岩じるしのムードメーカー和田昌幸さん。イチゴ農家で子どもは3人



黒岩じるし「料理婚活 in 佐川」

参加費：男性4000円 女性3000円
1回の参加人数：男性約12人 女性約12人
開催回数：年間1回